

# RACE REPORT




 Round.05 **SUGO**
**第5戦 スポーツランド SUGO**

2023年6月17日(土)

予選

天候：晴れ 路面：ドライ

**#38 坪井 翔**

予選：4番手

**#39 阪口 晴南**

予選：不通過

2023年の全日本スーパーフォーミュラ選手権は、早くもシーズン後半戦となる第5戦を迎えた。第4戦オートボリスでは予選で坪井翔がポールポジション、阪口晴南が3番手という結果を残しながら、決勝レースでは坪井が3位、阪口がアクシデントに見舞われるなど、P.MU/CERUMO・

INGINGにとっては少々悔しい結果となった。とはいえ3位表彰台で悔しさを覚えられるようになったことは、チームにとって大きな進歩と言える。この戦いを続けていけば、きっと優勝に届く日がくるはずだ。チームは勢いを後半戦でも続けるべく、第5戦のレースウィークに臨んだ。

## PRACTICE フリー走行

 6月17日(土) 9:10~10:40 天候：晴れ 路面：ドライ  
 ベストタイム #38 坪井翔 1'06.399 / #39 阪口晴南 1'06.686

迎えた第5戦の舞台は、宮城県のスポーツランド SUGO。1周をわずか1分強で回ってくるタイトなサーキットだが、コース幅も狭くアクシデントも起こりやすい。戦略も重要ではあるが、そのためにもまずは予選で好位置につけなければ、戦略の幅を広げることができない。

気温25度/路面温度40度というコンディションのもと迎えた6月17日(土)午前9時10分からのフリー走行では、コースオープンとともにまずは坪井がコースイン。少しタイミングをずらして阪口がコースインし、まずは阪口が1分09秒904をマーク。さらに坪井も1分09秒090にタイムを伸ばし、午後の予選に向けたセットアップを進めていった。

坪井、阪口ともに順調にラップを重ねていたフリー走行だったが、開始から35分というところでストップ車両が発生したことから、赤旗中断に。走行は9時52分にリスタートを迎えた。その後は他車のスピン等が見られるシーンがあったものの、中断なくセッション終盤を迎えた。

終盤、各車がアタックシミュレーションを行っていくが、まずはここで阪口が1分06秒686にタイムを伸ばす。さらに坪井は1分06秒399にタイムを上げ、坪井が4番手、

阪口が10番手で午前の走行を終えることになった。「もともとSUGOは苦手としていたのですが、悪くない感触だと思います。トップとはまだ差がありますが、課題は明確になっています」と坪井は振り返った。4番手ではあるものの、それ以上に感触は良さそうだった。

一方の阪口も「前戦オートボリスの走り出しよりも良くなっています。何かを変えたときの変化が分かりやすく、前戦からの上積みができていますね」とこちらも順位以上の良いフィーリングを得ていることを感じさせた。



## QUALIFY 公式予選

6月17日(土) 14:00~15:02 天候:晴れ 路面:ドライ  
ベストタイム #38 坪井翔 1'05.795 / #39 阪口晴南 1'28.720

午前のフリー走行でたしかな手ごたえを得ていた P.MU/CERUMO・INGING のふたりのドライバーたちは、午後の公式予選までにセットアップのアジャストを行い、午後2時からの公式予選 Q1 を迎えた。気温 29 度 / 路面温度 43 度というコンディションのなか、Q1 の A 組に出走したのは、フリー走行後大きなセット変更挑戦した阪口晴南だ。

阪口は一度コースインした後、ピットに戻りアタックタイミングまでステイしていくと、チェッカーへタイミングを合わせコースインしていく。

阪口は4周目、一気にアタックラップに入っていくが、スポーツランド SUGO では時折あり得る事態が阪口を襲ってしまった。阪口がアタックに入ったタイミングのレインボーコーナー立ち上がりで #55 ブリュックバシェが姿勢を乱し、アウト側のガードレールに激しくヒットしてしまった。阪口はアタック中だが、クラッシュ車両停止地点はイエローフラッグが提示されており、安全のため適切に減速しなければならない。赤旗中断にもなっていないことから、阪口はアタックタイムを刻むことができないという不運に見舞われてしまった。結果的に阪口の順位は A 組の 11 番手。予選通過タイムにも満たず、最後尾スタートを強いられることになった。

このクラッシュによるガードレール補修のため、当初午後2時15分にスタート予定だった Q1 の B 組は開始が 20 分遅れ、午後2時35分にスタートが切られることになった。B 組に臨んだ坪井は、コースオープン後しばらくピットレーン上でステイ。ライバルたちが一度ピットに戻ったところでコースインし、1周を走った後でピットイン。残り3分を切ったタイミングでふたたびコースへ戻った。ここで坪井は、アウトラップ後すぐとなる計測2周目にアタック一閃。1分

05 秒 820 までタイムを縮め、B 組のトップで Q2 進出を果たすことになった。

10 分間のインターバルを経て迎えた予選 Q2。前戦オートポリスで初めてのポールポジションを獲得している坪井にとっては、2 戦連続ポールポジションの期待がかかる。

午後2時55分のコースオープン後、坪井は一度ピットインを行い、ふたたびチェッカーに向けてアタックを展開していった。

ここでも坪井は、アウトラップ後にすぐアタックを展開。1分05秒795までタイムを縮めてみせた。

ただ1周が短く超僅差の SUGO で、坪井の順位は4番手。惜しくもトップ3進出はならなかった。とはいえ、これまで苦手としていた SUGO での2列目グリッド獲得に、坪井は「十分勝つチャンスはあると思います」と決勝レースに向けて明るい表情をみせた。

アクシデントも多いコースだけに、うまく流れを掴むことができれば、レースではさらなる上位も狙えるはずだ。



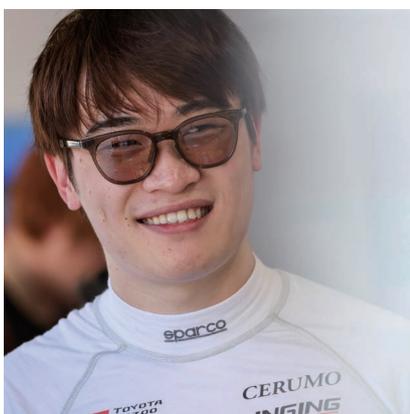
# COMMENTS

## ドライバー／監督コメント



### 38 坪井 翔 SHO TSUBOI

「予選Q1はトップタイムでしたし、Q2でしっかりタイムを上げることができればポールポジションも見えましたが、Q1からQ2へタイムを上げきれなかったことで4番手という結果となりました。調子が良かったので少しもったいなかったというか、残念ですね。しかし、これまでSUGOでは予選シングルで終えたことが一度もなかったくらい苦手なサーキットだったので、2列目からスタートできるということは優勝のチャンスが確実にあると思っています。とはいえ、前戦オートポリスでもレースペースがいまひとつの部分があったので、予選は予選でしっかりと切り替え、明日のフリー走行で決勝でロングランを速く走れるようなセットを見つけていきたいですね」



### 39 阪口 晴南 SENA SAKAGUCHI

「フリー走行で得た感触をもとに公式予選に向けて大きくセッティングを変更して臨みましたが、アタックラップで1～2コーナーを曲がった瞬間に良い感触がありました。実際にセクタータイムも出ていましたし、予選Q1が通過できただろうという感触もあったので、黄旗区間通過でタイムが出せなかったのは残念です。こういった結果になりましたが、もう少しリスクを考えて早めにピットアウトするなど考え方はありました。でも早めに出すぎてもダメですし……。明日は正直厳しい展開になるとは思いますが、このところレースペースに課題があったので、今後上位でスタートできたときにしっかりチャンスを得られるように、意味のある決勝にしたいと思います」



### 立川 祐路 監督 YUJI TACHIKAWA

「坪井選手は4番手でしたが、惜しかったですね。予選Q1は良かったですが、Q2に向けて少し伸びが足りなかったかもしれません。しかしトップが狙える位置ですし、決勝レースでのペース次第だと思っています。一方で阪口選手は残念のひとつです。午前のフリー走行から流れも良く、上位に進出できる手ごたえを本人ももっていました。タイミングもありますが、黄旗ばかりは仕方ないですね。阪口選手は明日の決勝で後方グリッドからポジションを上げることは正直大変だとは思いますが、SUGOは何が起きるか分からないコースですし、今後繋がるレースにしたいです。チーム全体として、しっかり流れに乗れるようにしたいと思います」



# RACE REPORT

## RESULT リザルト

### 第5戦スポーツランド SUGO 予選結果

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Q1	Q2
1	53	大湯都史樹	TGM GP SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.060	1'05.468
2	37	宮田莉朋	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'05.926	1'05.499
3	1	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.068	1'05.681
4	38	坪井翔	P. MU/CERUMO • INGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'05.820	1'05.795
5	20	平川亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'06.599	1'05.807
6	15	L. ローソン	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.038	1'05.842
7	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.265	1'05.920
8	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'06.223	1'05.960
9	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.732	1'06.031
10	65	佐藤蓮	TCS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.945	1'06.233
11	18	国本雄資	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'06.589	1'06.299
12	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.575	1'06.352
13	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'06.592	
14	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'07.716	
15	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.850	
16	36	G. アレジ	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'06.920	
17	19	関口雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'07.205	
18	51	R. ハイマン	BYOUBUGAURA B-MAX SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'07.691	
以上 予選通過車両						
	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'12.771	
	50	松下信治	BYOUBUGAURA B-MAX SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'16.815	
	55	C. ブリュックバシエ	TGM GP SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'24.197	
	39	阪口晴南	P. MU/CERUMO • INGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'28.720	

※ No.4 の車両は、シリーズ統一規則 第 27 条 9.「予選中の黄旗区間通過」当該タイム (1'06.853) 不採用 (裁定時刻 14 : 31)

※ No.7 の車両は、シリーズ統一規則 第 27 条 9.「予選中の黄旗区間通過」当該タイム (1'06.964) 不採用 (裁定時刻 14 : 31)